

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和元年度 第4回子ども・子育て会議
開催日時	令和2年2月14日（金）13：30～15：30
開催場所	子育て世代包括支援センター 会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	黒神委員
事務局職員氏名	福祉保健部 山本部長 子育て支援課 下野課長，鍵本課長補佐，濱野課長補佐，中田主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）パブリックコメントの実施結果について</li> <li>（2）第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画（素案）について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉 会</li> </ol>
配付資料	<p>資料1 第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画（素案）に係る意見募集の結果について ご意見の概要と市の考え方（案）</p> <p>資料2 第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画-素案-</p> <p>その他 次第，委員名簿</p>
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・出席者の確認</li> <li>・資料の確認</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・議題（１）パブリックコメントの実施結果について、事務局より説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料１説明</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や質問などあれば伺いたい。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントはどこで出していたのか。どの世代からほしくて募ったのか。１か月で７件しかない。保育所に手紙を回したらもっと意見が出たと思う。私自身も知っていたが子育てをしていたので忘れていた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では策定する様々な事業計画について、パブリックコメントを行っています。通常は各市民センターや本庁に置く、ホームページに掲載する形で行っているため、今回も同様に行い、保育所での広報など個別には行っていません。</li> <li>・子育て世代の意見が出ているかどうかは、十分でないかもしれません。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て環境に興味があり、そういうネットワークを持っている。そういった人たちにパブリックコメントの募集があると聞いたが、知ったのは締め切りの２日前で時間がなかった。</li> <li>・今後、子育て環境について意見を募る窓口はあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう窓口は普段はありませんが、市に対する要望はホームページから送ることができます。子育て関係の要望があれば、子育て支援課に届くようになっています。</li> <li>・今回のパブリックコメントは、第２期江田島市子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、計画書の案について意見を聞くものです。そのため期限を決めて進め、今回報告しています。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の通達は、期間を設けて募集した結果ということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページと本庁、各市民センター等に素案を置いて、市民に見てもらい意見を募集した形にしています。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かで告知をしていたか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで告知しています。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なことで市へお願いしたいときは、ホームページを通じて行えばよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに限らず、市役所に来てもらってもよいです。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口は開かれているということでよいか。</li> <li>・他にあれば伺いたい。</li> <li>・ないようなので、続いて議題（２）第２期江田島市子ども・子育て支援事業計画（素案）について、事務局より説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料２第１～３章説明</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第１～３章までについて、質問や意見があれば伺いたい。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P24 の基本施策６について。取組は園ごとに違うのか。その保育を受けさせたいと思ったら、その園に行かないとできないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年から認定こども園３園で始まった取組で、画一的な保育をするのではなく、それぞれが地元関係者の協力を得ながら、地域の特長を生かした保育を行うものです。</li> <li>・「えたじま」は浜がすぐある環境なので、海を活用した自然に親しむ保育を、「のうみ」はさつき太鼓の活動をしている団体があるので、そういう人の協力を得ながら伝統に親しむ保育を、「おおがき」はスポーツが盛んなので、スポーツ推進員やeスポーツの協力を得たり、近くの大柿高校には広いグラウンドもあることから、スポーツに親しむ保育を行っています。</li> <li>・これからは、保護者が認定こども園を選ぶ時代になるかと思っています。今年始めた取組なので、皆さんの意見を聞きながら進めたいと思っているので、今後議論してもらえたらと思います。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園は親が選べるかもしれないが、小学校は特別な理由がない限り今住んでいる学区の学校へ行かないといけない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの関係で地元の保育園を選びたいが、遠くの園の保育も体験させたいというギャップだと思います。保育園は地域を区切っていないので、友だち関係もあるかと思いますが、保育園は親の思いで選ぶことも可能かと思い、園ごとに特色ある保育を始めました。</li> <li>・第１期の子ども・子育て支援事業計画では、保育園の再編、整理を中心に行い、地域の中心となる認定こども園の施設整備を行いました。箱の整理はおおむね整ってきたので、次のステップに進むために保育内容の充実を図っていこうと、初年度の今年、保育園を含む全園で英語に親しむ保育をやることと、認定こども園のそれぞれの立地環境を生かした保育を行うことにしました。</li> <li>・江田島市には民間の保育園がありません。民間だと、例えば音楽を充実させた保育、健康のための体操を重視した保育、英会話に一生懸命取り組む保育を行う園があり、保護者が選べます。江田島市ではそういったことを行える準備ができていないので、初年度の取組として、それぞれの園が特徴を持った保育内容づくりをやってみようと始めました。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある保育を行うと、次の小学校に上がったときにギャップが出てきます。保育士の質の充実の狙いも持ちながら、初年度の取組をしています。今後子ども・子育て会議の意見や保育園の保護者の声を聞きながら、それぞれの保育園の保育内容の充実について、第2期では力を入れていきたいと考えているところです。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすくなった。この三つの項目については、立地条件や環境によって違ってくるという見方でよいか。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにあれば伺いたい。</li> <li>・希望すれば、自分が住んでいなくても特徴ある園に行けるということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園は学区がないので、保護者が働く場所や通勤の経路によって選ぶことができます。今後各園が切磋琢磨し、保護者に選んでもらえる保育施設を目指していきたいと思っています。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に上がったときのことも考えてということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい関係など色々なことがあると思います。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれは小学校も選べるようになるか。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は学区があり、保育園のように選べないということか。</li> </ul>
山近委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本はそのとおりで、学区の小学校や中学校へ行くのがベースだ。ただ、全員がそうではなく、相談を受けるケースもある。兄が行っているので、下の子も同じ学校にという場合もある。また部活動で、野球部はこの学校にしかないという理由で指定校変更を希望する場合もある。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的にそこに興味を持っている。江田島市内には小学校が六つあるが、学校によって環境が全く違う。例えば江田島小学校は私服で髪型の制限がない。中町では制服があり、髪型や靴下について規則がある。</li> <li>・今後の教育界は進化をしていかないといけない時代だと本気で思っている。社会とのギャップがあって、ひきこもりも社会問題となっている。生産性を高める教育から、自己を見つめて個性を生かしていける教育にというのは、子どもの生活を見ながら痛感している。江田島市の教育委員会が、子どもの環境についての思考があり、統一していると感じたことがなかった。学区の小学校では髪型が決まっているが、子どもにはこの髪型が似合うと感じる自由意志があるのに、奪われているような気がする。自由意志、自己を見つめるのにつながると思うので、江田島市としてこういった教育というのがあるなら、機会があれば知りたいという母親はたくさんいる。また後で話をしたい。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服については、津久茂小学校も江田島小学校もなかった。大きな理由のひとつは、自衛隊が多いので転校が多く、その度に制服を買わないといけないのがあったと聞いている。</li> <li>・ほかにないようであれば、第4～5章について説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2第4～5章説明</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や質問などあれば伺いたい。</li> </ul>
宝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P49の（2）子どもの人権と権利を守る取組の充実の「子どもが利用できる相談体制の充実」に「市内の小・中学校にスクールカウンセラーを配置し」とある。個人的に何回か利用したが、江田島小学校には月に一回くらいしか入っていないと思う。先生はたくさん相談を受けているようで、相談しても前回のことをあまり覚えていない。そのため、前回の相談内容と今回どうなっているかの説明に、半分以上の時間を取られるので、なかなか相談にならない。できれば常駐して、普段の生活も見てもらいたい。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もしかしたら、一人が小学校を回っているのかもしれない。</li> </ul>
山近委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーは県で措置をしている。拠点校が中学校なので、基本的には中学校に常駐している。例えば能美中学校にスクールカウンセラーがいて、月に一回など定期的に小学校に行っている状況だ。</li> <li>・覚えていないというケースがあるかもしれないが、スクールカウンセラーは基本的に記録し、学校との共有を図っていると聞いている。小学校が必要と感じたら、多めに来てもらうよう調整するのは可能だと思うので、学校に相談したらよいと思う。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増やしてもらう可能性はあるのか。</li> </ul>
山近委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として希望を出すことはできても、配置を決めるのは県の教育委員会だ。県全体としては、年度ごとに数は増えてきていると思うが、全ての学校に配置するのは難しい現状だ。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のような声があったことを、学校やスクールカウンセラーにそれとなく伝えてもらいたい。</li> </ul>
山近委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちの負担の軽減を図る、働き方改革ということで、国の施策としても、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増やす方向だ。ただ、すぐに市まで下りてくるかという点、多少時間がかかる。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P53の（3）人材の確保と育成の取組 人材確保と育成に「臨時保育士及び保育補助員の登録制度を活用した人材の確保に努めます。」とある。今年は未満児を預けようと思っても、待たされた人が結構いたが、来年度は確保できたのか。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時保育士は、来年度より「会計年度任用職員」と呼ばれます。この職員の第一次募集を行い、採用の手続きを進めているところです。こちらが思っている数までは達していない状況です。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくらかは応募があったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで臨時保育士をたくさん採用しており、その人たちが引き続き応募したので、今現在に近い数字になっています。ただ、年度途中の増加を見据えて、採用したい数字を出していますが、それに満たない状況です。第二次の募集を行う予定なので、希望する数を採用できればと思います。これまでも働きたい人に登録してもらい、面接試験などを経て採用する手続きはありますが、年度途中はそれができない状況です。厳しい状況ですが、なんとか次で一人でも多く採用できればと思っています。近くに保育士の有資格者で働きたい人がいれば、声を掛けてください。</li> <li>・保育士の不足についてはニュースでもよく取り上げられますが、率直に言って、まだ足りていません。年度当初の状況なら確保できると思いますが、年度途中に未満児が入って来た場合、すぐ対応できません。保育士有資格者に登録だけでもしてもらいたい、力を貸してもらいたい思いから登録制度を作っています。</li> <li>・こういう制度にしたらもっと働きやすくなる、こういう制度改革が必要ではないかという提言ももらえると、採用に関する事なので単体で決めることは難しいのですが、制度の改正を現場の声として上げることができます。色々工夫しながら、何とか人材の確保に努めたいと思います。</li> <li>・正規の保育士の採用も行っていますが、なかなか応募がない状況になっています。苦しい部分がありますが、江田島市の子育て支援策で人材確保、育成は大切なテーマなので、重点的にやらしてもらいたいという財政や総務の部門にアピールする意味合いも込めて書いています。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そんな状況なのに、生後六か月から受け入れると書いて大丈夫か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張ります。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の職員や保護者が集まるこういう会は、とてもよい。ほかにも作ると思う。ここでは事業計画案を作らないといけないので、気が付いたところで話をしてもらいたいと思う。</li> <li>・P42の基本理念のキーワードについて、前回までは「支える」だったが、「つながり」になったことは、誰が見ても分かるのでいいと思ったが、どうして「つながり」になったのか聞きたい。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、基本理念の図の中に「～支える～行政は・・・」とあるが、ここに行政を入れるのはどうかと思った。というのもP44の基本目標を見ると、3は「みんなで支えあう子育て」となっているからだ。基本目標1は、図では「～育つ（成長）～」、2は図では「～見守る～」で対応しているように読み替えてしまうので、3についても読み替えてしまう。P43の基本目標の文章を読んでも、行政についてはたくさん出ていない。どういう「支えあい」と捉えたらよいのかと思う。</li> <li>・P45の3行目、「今後5年間で次の内容に取り組みます。」とあるが、どの内容を指すのか。その下の行は、重点的な取組を指すのが分かるがここは分からない。</li> <li>・重点的な取組、三つの中に「相談体制の充実」がある。基本目標の3の1番を指すのかと思ったが、施策の方向にもあるので、関係がよく分からない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず「つながり」について説明します。子育ては一人でできるものではなく、子どもも親も成長していく中で色々な人と関わり、つながりが広がっていくイメージがあります。「つながり」というのは、行った先だけでなく、住んでいる地域などにも色々あります。そういった子育てにおいて欠かせないものというところで、今回は「つながり」を重点的に考えました。</li> <li>・P42については、行政をはっきり入れるのはどうかという意見だったと思います。子育てにおいて「支える」のは親子同士、地域での支えなど色々あります。その中で最後に支えるのは皆さんを支える行政で、その充実という意味で入れました。しかし行政という言葉が入ることにより、行政がやってくれるという意味合いに取られる可能性があるのなら、事務局で検討します。</li> <li>・ここに行政という言葉が入っているとどのような印象を持つか、教えてもらいたいと思います。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前の資料にあった「支えあう」は、「皆」や「地域」が濃い印象だった。行政は支える前提だが、ここで出すと整合性がないと感じた。皆でつながるのは大事なことだと思うし、子育て世代は助けてもらえばかりでなく、自分も関わっていくのをイメージとして持っていけないといけないと思う。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方の違いだと思う。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な捉え方があると思うが、誰が見ても分かるようにしないといけないと思う。</li> </ul>
西森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的には、行政といってもそこで働いている人も市民なので、気にならなかった。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩んでどこにも行き場がないときに行政を頼るのが市民なので、行政があるとないとでは安心感が違う。行政の文字をすべて消すとどこに行けばいいのとなるかもしれない。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標では曖昧に「みんなで」となっている。それなら、行政と具体的に書かなくてもよいのではないか。行政がしっかり支えるということの色濃く出したいなら、出してもらいたい。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政というのは、細かな所で説明できる。ここに入れる必要があるかどうかだ。誤解や拡大解釈を生むなどの捉え方があるなら、使わない方がよい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P43 の基本目標 1 は、子どもを真ん中に置いたときに、親と子が共に自ら主体的に育ちあう取組を支えるものです。それがP44 の基本施策 1～3 です。その気持ちをP43 の 1 行目にまとめています。</li> <li>・基本目標 2 は、共に育とうとする親子を地域全体で温かく見守る仕組みを作りたいというのがあり、最初の 1 行に込めました。</li> <li>・基本目標 1 で親と子が共に育ちあおうとしているのを支える施策を作り、そして基本目標 2 では、その親子を真ん中に置いて、地域全体が温かく見守る仕組みを作ります。それを最終的に支える土台となるのは行政の仕事です。親子の成長と子育てを見守る地域を支える施策を進めるためには、行政でしっかり土台を作るという思いを基本目標 3 の 1 行目に込めています。</li> <li>・基本目標 1 は親子が主役、2 は地域の皆さんが主役、3 は土台として行政がしっかりと役割を果たす思いを込めています。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かってはいるが、捉え方が色々ある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その思いで作ったとき、P42 の図に行政という言葉がない方が伝わりやすいのであれば省きます。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が入っていても悪いわけではない。反対はしない。それなら、基本目標 3 も行政の色合いが濃い方がよい。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が成長するのに、行政が支えますという形で付け足すのはどうか。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力強く、行政が支えますと書いてくれたら本当にありがたい。</li> </ul>
三王委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ではこのままでよい。</li> </ul>
樋上副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行政と書いてありますよ」と言われる。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉については、事務局で検討してもらいたい。皆は行政を頼りにしている。</li> <li>・ほかにあれば伺いたい。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P45 の3行目「今後5年間で次の内容に取り組みます。」は、P46以降のすべての取組を指しています。全体の意味が伝わるよう、文章を変更します。</li> <li>・ 同ページの相談体制の充実が重なっている点は、確かに基本目標3の基本施策1の言葉がそのまま入っています。P45の表現を少し変更し、混同されないようにしたいと思います。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ではそのようにお願いしたい。ほかにあれば伺いたい。</li> <li>・ 続いて資料2第6～7章の説明を願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料2第6～7章説明</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見や質問などあれば伺いたい。</li> <li>・ 計画策定の協議は今回で最後となる。本日の意見を踏まえ、最終的な表現や誤字脱字など事務局で修正作業を進めるが、3月上旬には市長に答申書を提出する予定だ。修正が終わったら、本来ならこのような会を開催して最終確認するのが筋だが、時間の都合上、誤字脱字や表現の細かな修正、並べ方を変えるなどといった修正であれば、会長一任とさせてもらいたい。</li> <li>・ 拍手で賛同いただいたので、最終確認は会長一任とする。</li> <li>・ 続いてその他について、事務局より説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局としてはありません。</li> </ul>
梅比良会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これで議事を終了とする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶</li> <li>・ 閉会</li> </ul>